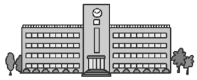


スクール便り



総合学科における「生きる力」の育成

—愛知県立鶴城丘高等学校 環境デザイン系列—

1. 学校紹介

本校は愛知県の南部に位置し、抹茶の産地として有名な西尾市にある。明治42年4月愛知県立幡豆郡立農蚕学校として創立し、その後幾多の変遷を経ながら、戦後は愛知県立西尾実業高等学校となり、農業および工業の専門高等学校として地域社会と連携しながら大きな役割を果たしてきた。平成16年4月に学科改編し、総合学科高等学校となった。同時に学校名も愛知県立鶴城丘高等学校と変更した。普通系列、商業系列、工業系列、農業系列の4系列の内容を学習できる高等学校であり、特に専門系列の中で農業系列を有する総合学科高等学校は県下唯一である。

本校1年生は、6クラス募集の定員240名で入学する。2年生からは将来の進路を見据えて、①人文科学系列、②自然科学系列、③国際ビジネス系列、④情報システム系列、⑤メカトロニクス系列、⑥アグリサイエンス系列、⑦環境デザイン系列、の希望する7系列に分かれる。

本校の教育課程は必修科目、系列科目、総合選択科目がある。1年生はほとんど必修科目で、2年生から必修科目と系列科目と系列の枠にとらわれない総合選択科目となる。総合選択科目はA～Dの4グループの中から4科目8単位選択する。生徒が将来の進路に合わせた幅広い学習ができるように学校設定科目を多く設定している。なお、新教育課程では総合選択科目がA～Cの3グループ、3科目6単位に変更される予定である。

2. 新教育課程について

(1) 平成25・26年度入学生の系列における教育課程

() は単位数

2年：農業と環境 (2)、造園計画 (2)、
環境デザイン (4)、測量 (3)、
総合実習 (2)

3年：水循環 (2)、造園計画 (2)、
環境デザイン (4)、測量 (2)、
総合実習 (4)

総合学科になって初めての教育課程の見直しであ



写真-1 愛知県立鶴城丘高等学校

る。今回の見直しにより総合選択科目が8単位から6単位となり、系列における専門科目の単位数が2単位増えた。2年生ではこれまで造園に関する科目が設定されていなかったため、新たに造園計画を加えた。3年生では水循環を加えた。

(2) 新教育課程への対応について 2年生で学習する「農業と環境」において農業の多面的機能、物質の循環、環境保全に配慮し、3年生における農業の持続的な発展に活用する能力と態度を育てる「水循環」をリンクさせる。具体的には、森林や農耕地における水の役割を理解させ、水の性質から農業水利への知識を関連づける専門的知識と態度を育てる。

3. 専門性を活かした「生きる力」を育む進路指導

上述のとおり、本校1年生は、総合学科240名で入学し、7系列の内容について第1学年時に共通履修科目「総合基礎」で全員が各系列をローテーションにより体験学習し、その後、生徒が興味・関心や進路における自己実現を達成するために適合した系列を選択する。1年生2学期より系列決定がなされ、週当たり4時間の専門学習が行われる。2年時は進路決定の選択を促す、「インターンシップ」を導入し、職業観の育成を図る。3年時では地域ものづくりスキルアップ講座「クラフトマンⅡ」という研修で、CADの使用法、PCによる測量計算、大型建設機械の運転操作など実



写真-2 クラフトマンⅡ実習風景

際の仕事を経験し、より専門的な知識・技能の修得に励み、進路決定の一助としている。

環境デザイン系列において実践される農業教育の大きな強みは、机上だけではない実物を使用しての授業、とりわけ普通高校では体験できない施工機械・実験調査器具を操作、使用する学習によって「実学」を身に付け、「生きる力」を育むことができるということである。

環境デザイン系列の目標として、①自然と人間との関わりを学び、環境について理解する、②デザインの学習を通して多面的なものの見方を身に付ける、③生活環境のあり方を考え、将来の新しい環境を創造する力を身に付ける、以上の3点を挙げており、実践できるよう日々指導を行っている。

4. 「生きる力」を育むための特色ある取組みと教育効果の狙い

- ① 総合基礎： 設計書の示された値に寸分違わぬものを作り上げる「施工」、強度や材質を考慮に入

れた土木構造物の「設計」、都市環境整備に必要な「施工機械」を学習し、第1学年から取り組むことにより、早い段階から理解・関心の深化を図る。

- ② 環境デザイン： 系列科目として、製図・土木施工・造園施工・土木設計に必要な知識と技術を学習し、目的や環境に応じた空間を創造する能力と態度を育てる。

日頃の学習活動の発表の場として、西尾市教育委員会生涯学習課主催による家庭教育講座「正月の創作松竹梅作り」、西尾市役所西側全壁面にパッションフルーツを用いた「グリーンカーテン」、愛知県学校農業クラブ連盟農業鑑定競技農業土木の部において最優秀、同じく平板測量競技会においても最優秀に輝くことができ、第65回日本学校農業クラブ全国大会平成26年度沖縄大会に出場した。生徒たちの日頃の頑張りに目を細めるばかりである。

5. おわりに

総合学科高等学校の環境デザイン系列という大変特殊なカテゴリーの中、生徒それぞれの目的意識の違いを有しているため、限られた時間数や制約された時間割の中で「魅力ある授業」、「興味・関心のもてる実験、実習」「将来の自己実現を達成するための学習」を生徒に示しながら生徒の「生きる力」を育成していきたい。そのためには今まで以上に自系列以外から履修する生徒達にも、我々の系列の魅力をあらゆる機会を利用して伝える努力をすることや、分かりやすい授業を展開するための教材研究、外部に向けての教育活動の発信など、「生きる力」を育む環境基盤作りを推進していきたい。

(愛知県立鶴城丘高等学校環境デザイン系列
教諭 市村秀丸)